

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 7 月 4 日 (2013.7.4)

【公開番号】特開 2011-250345 (P2011-250345A)

【公開日】平成 23 年 12 月 8 日 (2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2011-049

【出願番号】特願 2010-123950 (P2010-123950)

【国際特許分類】

H 0 3 F 3/45 (2006.01)

H 0 3 K 19/0175 (2006.01)

H 0 3 F 3/343 (2006.01)

H 0 3 F 1/30 (2006.01)

H 0 3 K 19/0948 (2006.01)

【 F I 】

H 0 3 F 3/45 B

H 0 3 K 19/00 1 0 1 F

H 0 3 F 3/343 A

H 0 3 F 1/30 B

H 0 3 K 19/094 B

H 0 3 F 3/45 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 20 日 (2013.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 7 】

アンプ 1 0 9、トランジスタ 1 1 0 ~ 1 1 4、並びに、抵抗 1 1 5 及び 1 1 6 は、トランスミッタ 1 0 の出力段を形成する回路要素である。アンプ 1 0 9 の非反転入力端 (+) は、充電電圧 V a の印加端 (コンデンサ 1 0 5 の高電位端) に接続されている。アンプ 1 0 9 の反転入力端 (-) は、抵抗 1 1 5 の第 1 端に接続されている。アンプ 1 0 9 の出力端は、トランジスタ 1 1 0 のゲートに接続されている。アンプ 1 0 9 の上側電源端は、E C U 側電源電圧 V 1 の入力端に接続されている。アンプ 1 0 9 の下側電源端は、接地端に接続されている。トランジスタ 1 1 0 のソース及びバックゲートは、いずれも抵抗 1 1 5 の第 1 端に接続されている。抵抗 1 1 5 の第 2 端は接地端に接続されている。トランジスタ 1 1 0 のドレインは、トランジスタ 1 1 3 のドレインに接続されている。トランジスタ 1 1 3 及び 1 1 4 のソース及びバックゲートは、いずれも E C U 側電源電圧 V 1 の印加端に接続されている。トランジスタ 1 1 3 及び 1 1 4 のゲートは、いずれもトランジスタ 1 1 3 のソースに接続されている。トランジスタ 1 1 4 のドレインは、トランジスタ 1 1 1 のドレインに接続されている。トランジスタ 1 1 1 及び 1 1 2 のソース及びバックゲートは、いずれも接地端に接続されている。トランジスタ 1 1 1 及び 1 1 2 のゲートはいずれもトランジスタ 1 1 1 のドレインに接続されている。トランジスタ 1 1 2 のドレインは、送信出力信号 O U T (図 1 のバス信号 S B に相当) の出力端に接続されるとともに、抵抗 1 1 6 を介してバス側電源電圧 V 2 の印加端にも接続されている。